

今やるべきは「MICE 施設」でなく、「いのち・暮らし」が先でしょう!

2月20日、益田牧子議員が、市議会最後の一般質問を行いました。
大西市長が突然発表した「市民病院建替え凍結」を厳しく批判し、速やかな建替え着工を求めました。また、MICE 建設のムダづかいを様々な角度から批判し、市長公約のがん検診無料化や中学3年生までの医療費助成などいのち優先を求めました。また、市営住宅アンケートで寄せられた切実な声を紹介し、改修予算の増額、バリアフリー改修を要望しました。国保料引き下げや全ての学年での35人学級実現、有明海再生、TPP 反対、核兵器廃絶などくらし・福祉・教育優先の予算編成を要望しました。(傍聴席いっぱいの傍聴ありがとうございました)

市の負担は桜町再開発総事業費の約7割 ～再開発会社には126億円の補助金、60億円の無 利子貸付など至れり尽くせり～

益田牧子議員は、「MICE 施設のために2核3モールの大事な一核である県民百貨店をつぶし、中心市街地の賑わいにも逆行する。アベノミクスで消費が低迷し、建築資材が高騰し、雇用状況も悪い時に、県民百貨店・センタープラザを追い出すのは、最悪の選択」と厳しく批判しました。

再開発会社は熊本市の資金を最大限活用し、利潤追求

熊本市のMICE 負担は、総事業費700億円のうち、約450億円・64%を占めます。ところが、再開発会社の自己資金は7000万円で事業費の0.1%に過ぎません。再開発会社にとっては、メルिटばかり。海拔55mの景観条例基準をオーバーする高さが許され、126億円の補助金に加え、60億円の無利子貸付など至れり尽くせりです。益田議員は、「大西市長は『民間の活力を最大限生かす』というが、熊本市の資金を最大限に活用して、利潤追求する事業となっている」と再開発参加のムダづかいを追及しました。

日本共産党 市議会だより

発行：日本共産党熊本市議団

ますだ牧子 上野みえこ なすまどか

熊本市中央区手取本町1-1 議会棟

NO. 939

2015年3月1日号

電話 328-2656

FAX 359-5047

メール：kumamsu@gamma.ocn.ne.jp

ホーム：http://www.jcp-kumamoto.com/

中学3年生までの医療費助成は先送り 大西市長「自己負担はコンビニ受診抑制になる」

益田議員は、「永久歯が完成する中学時代までの口腔管理の充実を図ることが、厚労省も推進している「8020 運動」の達成のために重要。どの家庭に生まれても、必要な医療が受けられるように、中学3年生までの医療費無料化が必要。熊本市圏13自治体では、9自治体が中3までの無料化をすでに実現。(下表) また、天草市では、市長選の公約第1号で年度途中から小3を一挙に中3年生までの医療費無料化が実現した」と大西市長に迫りました。

また、全市的に500円の自己負担をなくし、無料化するべき」と追求。市長は、「一定の自己負担を設けていることによって、不要・不急のいわゆる『コンビニ受診』の抑制につながっている。」と答弁。「持続可能な制度となる」ために、自己負担導入を狙っていることが判明しました。

植木町・城南町は就学前無料から月500円負担増へ

植木町・城南町では、合併の約束である「サービスは高い方に、負担は軽い方へ」に逆行し、就学前は、4月から月500円の負担が発生します。約650万円で無料を継続できます。

	自治体名	入院年齢	通院年齢	所得制限	自己負担
1	熊本市	小3まで	小3まで	なし	医科3歳以上、歯科5歳以上1科月500円
2	玉東町	中卒	中卒	なし	なし
3	合志市	小卒	小卒	なし	なし
4	菊陽町	中卒	中卒	なし	なし
5	大津町	中卒	中卒	なし	なし
6	西原村	中卒	中卒	なし	なし
7	益城町	中卒	中卒	なし	なし
8	宇土市	小卒	小卒	なし	小学以上は入院月2000円、通院月1000円
9	宇城市	小卒	小卒	なし	同上
10	嘉島町	中卒	中卒	なし	なし
11	御船町	中卒	中卒	なし	小学以上は入院月2000円、通院月1000円
12	甲佐町	中卒	中卒	なし	なし
13	山都町	中卒	中卒	なし	なし

桜町再開発への MICE 約 450 億円は、住民投票で決着を！

大型ハコ物は時代遅れ！～借金返済年約 20 億円、ランニングコスト年間 3～10 億円

大西市長は、前市政を引き継ぎ、史上最大の 450 億円もの投資額となる MICE 建設を最優先の事業として、再開発会社のスケジュールに合わせて進めています。日本共産党は、MICE 施設は、「時代遅れの大型ハコ物建設であり、中止するべき」と一貫して主張してきました。

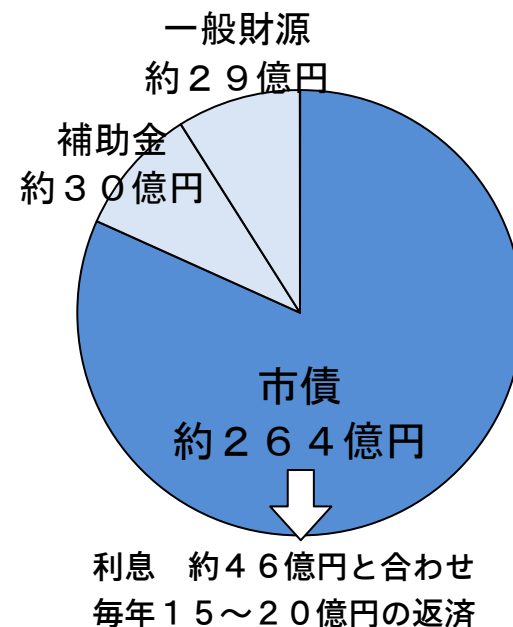
優先すべきは、MICE 施設でなく、医療・教育・福祉施設

益田牧子議員は、一般質問で、「建築の専門家からは、『医療、教育、福祉施設整備を優先すべきであり、MICE の優先度は低い』と言われており、多くの市民の常識でもある。MICE 施設を最優先で進め、市民生活に影響を与えないと断言できるか」と大西市長を追及。市長は「影響はないと思う」と答弁しました。しかし、優先すべき市民病院建替えや子どもの医療費中学 3 年生までの無料化、がん検診の無料化、教育環境整備や市営住宅などの長寿命化計画などは、先送りとなっており、すでに大きな影響を与えています。

MICE 施設約 450 億円の財源内訳

* 再開発助成	約 126 億円
国県支出金	約 63 億円
一般財源	約 63 億円
* MICE (建物・備品)	約 233 億円
国県支出金	約 30 億円
市債	約 183 億円
一般財源	約 20 億円
* MICE (土地)	約 90 億円
市債	約 81 億円
一般財源	約 9 億円

MICE 整備事業の財源内訳



MICE 施設は、説明責任を果たし住民投票を！

益田牧子議員は、「MICE 施設については、前市長の時の説明会は、都市計画決定後に、区役所単位での夜間説明会のみであり、大西市長の『MICE 見直し説明会』も、市長の説明に多くの時間が割かれ、質問時間が少なく、『市民への周知・広報』が終わったとは到底考えられない。再開発事業の縦覧手続きに入るのではなく、予算執行を凍結し、小学校単位での『再開発及び MICE についての事業計画』の説明会・市民の意見を聞く会を開催し、最後は『住民投票』で決するべきだ」と大西市長に問いました。

大西市長「MICE 施設整備推進を掲げ、市長選挙では賛成が多数」～「市民的なコンセンサスは得られていない」

大西市長は、「MICE 施設整備推進を掲げ先の市長選に臨み、その中で得られた市民の意見では、賛成が多数だったが、事業費等を心配する声もあり、市長就任と同時に精査・再検討に取り組んだ」「今後とも、より良い施設とするため情報発信に努めるとともに、意見を聞く場としては、シンポジウム、オープンハウスなどの開催を予定している。市民の代表である議会に対しても、随時、説明・報告を行い、協議する」と住民投票は必要ないとのと答弁でした。

益田議員は、「肝心の事業費は見直しで、9 億円増え、そもそも、目的もコンベンションからコンサートなどのエンターテインメントへと変更している。現状では市民的なコンセンサスを得たとは言えない。縦覧の前に、説明会を開催するべきだ」と、繰り返し要望しました。

大西市長の MICE 見直し～9 億円の追加のみで、総事業費 323 億円

- 1、更なる規模の縮小は困難
- 2、メインホールの低層階配置は行わない
- 3、固定席は 2300 席とする
- 4、スタンディングコンサート専用ホールとしての対応は行わない
- 4、中規模ホールは、固定ステージや固定席は設けず、昇降ステージ、可動席の設置などを行い追加費用は 9 億円